

昌子の広場 第34報



2004年6月号

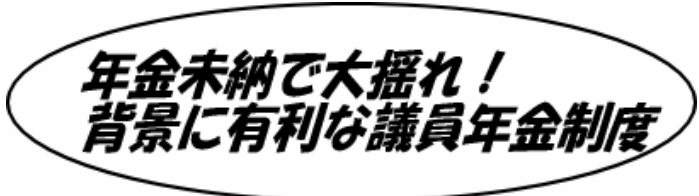
和泉市無所属市民派議員
小林昌子
和泉市緑ヶ丘2-13-10
自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626
事務所 Tel(Fax) 0725-53-4451
Email masakokob@yahoo.co.jp
http://masako-hiroba.info/
ホームページもご覧下さい
yahoo の小林昌子で検索出来
ます。



<この会報は再生紙を使用しています>

目次

年金未納と議員年金	P1-2
ベトナム・日本 女性市民交流シンポジウムに参加	P2
榎尾川ダム反対ビデオ上映会、市民の広場	P3
住基ネット、昌子の広場	P4



年金改正に国民の大多数が反対

参議院に回った年金改正法案に国民の大半が反対の意思表示をしています。

抜本的改革にほど遠い事の他に、今回の未納問題があると考えます。未納について「手続き上のミスや勘違い」等平然としている議員にこの法案の審議は任せられないという事でしょう。



ところでこの未納問題には議員年金と国民年金との間に大きな格差があることが背景にあると考えます。10年以上かければ多額の年金が貰える国会議員の議員年金に比べ、25年以上かけないと貰えなく、且つ少額である国民年金、その差は明らかです。

「議員年金があれば国民年金などどうでもいい」の感覚ではないでしょうか。

ところで和泉市議会議員の年金は 地方議会議員年金は

1961年(昭和36年)7月に地方議会議員互助年金法に基づく任意加入の互助年金制度として発足し、1962年(昭和37年)12月に地方公務員共済組合法に基づく強制加入の年金制度に移行し、1972年に公費負担が導入されたものです。

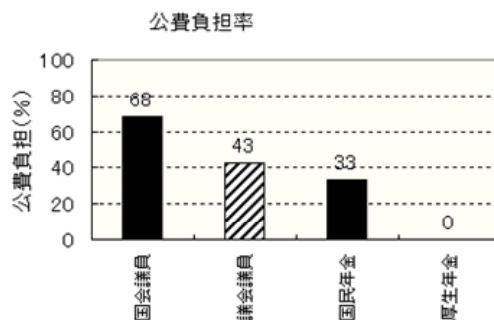
地方議会議員の年金は、「地方公務員等共済組合法 第11章 地方議会議員の年金制度」で定められています。

議員年金は優遇されている

議員年金はその他の年金に比べ、その身分が不安定としても優遇され過ぎていると指摘されている。

その1 公費負担率が高い

公費負担の比率は平成14年度までの公費負担と議員負担は46対54で、平成15年度からは43対57に、平成17年度からは41対59にと、公費負担の比率は下がってきていますが国民年金等と比較して依然として高くなっています。



厚生年金は事業者の負担が

50%あるので有利との考えもあるが、事業者の負担は元々年金対象者の会社が稼いだ株主と自分達のお金であり、公費負担は0です。

その2 受給資格が短期間で得られる

国民年金は25年に対し地方議員は12年と短い。

その3 年金額が違う

厚生年金が標準世帯(40年間保険料を払い続けた夫と専業主婦の妻の世帯)が受け取れる年金は妻の年金を含めても月額23万8千円。また国民年金(25年間払い続けた人)は満額で月額6万6千円しかもらえません。

一方地方議員は和泉市の場合で12年間納めるだけで、月16万円。毎月納める額が多いとはいえない大きな違いがあります。

その4 その他の年金との併給が可能

ダブって恩恵を受けることができます。

さらに問題はこの年金共済会が大きな赤字

市議会議員の共済年金財政は03年度に自治体の拠出、議員の

負担が共に引き上げられましたが、赤字は増大しています。累積赤字が03年度末で237億円になるとみられます。

掛け金支払期間が最低12年と短いことなどが背景にあります。今後、市町村合併で加入議員が減少し、さらに収支悪化が予想されます。この赤字はいずれ国民の負担となって跳ね返る可能性があります。

237 億円の赤字

このような手厚い保証がどうして必要であったのでしょうか。議員という身分は選挙に基づいて与えられたものであるから、一般のサラリーマンとは異なり非常に不安定であり、生活のための収入が継続的に約束されているわけではない。有権者から信任を受けた議員が、独立した立場で市民に公約した各政策に取り組める環境が真に必要と考えられ、手厚い保障を設けることは、引いては優秀な人材に議員としての活躍の道を開くための必要とされています。……………がしかし

市民の方々は納得していません

一定の理解は出来ませんが、この厳しい時代にあって市民の方々が納得するとは到底思われません。

市民の皆様から見ても納得できる制度に変えなければなりません。この制度は市独自では変えることが出来ません。

国の法律が変わらなければどうしようもありません。

小泉首相も国会議員の年金については改正に意欲を持っているようにも見えます。

国会議員だけでなく、市長村議員の制度改正にも取り組んでもらいたいと考えます。和泉市議会でも困難とは思いますが改正の意見書を提案できるよう努力したいと思います。

市民の皆様のお寄せ下さい。

ベトナム/日本 女性市民交流シンポジウムに参加



5月13日から1週間ベトナムでの女性市民交流シンポジウムに参加しました。このシンポジウムはベトナムウーマンズユニオンと企業組合味工房エル25の共催でベトナムのハノイとヴァインで開催されたもので、日本国際交流基金の後援を受けて行われました。

開催の趣旨は

日本の経済発展の中で輸入食品、ファーストフード、コンビニエンスストアが増えることは、主婦の繁忙を助ける利便さが増している一方で、古くから日本の風土に根ざし、日本人の健康の礎とな

ってきた食生活の伝統を蝕み崩壊の危機に追い込んでいます。そして、物を大切に作る心と自ら作る楽しさを通じて育つ豊かな心にも影響が及んでいます。

この現状に憂いを抱く地域の女性が力を合わせて豊かな食生活を守り、地域の活性化に寄与することを目的に実施している市民活動を紹介し、特に自ら出資し、職場を作り出している生活協同組合や企業組合方式による活動は、女性の自立を導くとともに、これからのベトナムの食生活の文化と女性の生き方が経済発展の陰に隠れて忍び寄る危機をしっかりと捉えることに役立つと考えられます。日本とベトナム両国の事例を通じて女性が果たす役割を共有し、学習を通じて将来のよりよい生活を女性自ら確保していくため、このシンポジウムが企画されました。

ハノイウーマンズユニオンにて



日本側からのシンポジウムでの発言

「地域活性化に貢献する女性の起業への取り組み」

乳飲み子に飲ませる安全な牛乳を求めて

エスコープ大阪理事長 山口節子

地域活性化にはたす主婦の役割

企業組合・味工房・エル25 理事長 佐藤厚子

環境を守ること女性の役割

和泉市市議会議員 小林昌子

の3者がパネラーとして発言しました。

シンポジウム当日の様子をちょっと紹介します。

朝早くホテル横の市場へ。昨日同様朝早くから活気があり、狭い通路を人や自転車、オートバイが行き交っています。犬の肉が売られているのにはさすがに驚きました。

会場にはアオザイ姿の女性が30数名。男性は報道関係の人のようです。女性ユニオンの代表の歓迎の言葉があり、佐藤さんの挨拶と続きました。その後私達からの手土産とエスコープ大阪からの親書が披露されました。

そしてシンポジウムの発表。

日本側はお互いの意見交換の時間を多く望んでいましたが、ハノイ側は国情の違いもあり十分とはいえず、少し物足りない印象でした。(詳細は私のHPで)

自然を破壊する130億円の無駄！

この清流にダムはいらない

この素晴らしい自然を破壊し、税金を無駄遣いするダム計画を見直そう！



皆様ご存じでしょうか！

現在槇尾川上流に治水ダムが建設されています。15年の歳月をかけ、総工費130億円のダムが進行中です。

大雨が降った時の槇尾川氾濫に備え計画されたものですが、本当にこの様な巨大なダムが必要なのでしょうか？この計画にはダムの専門家も大きな疑問を示しています。

極めて厳しい財政の中で多くの福祉が切り捨てられています。この様な時に税金を無駄にするだけでなく、貴重な自然を破壊するダム計画を許して良いのでしょうか。

槇尾川ダムの問題を分かりやすく市民の皆様にお伝えするためのビデオが完成しました。

長野県の田中知事もこのビデオで依然として無くならない巨大公共工事の矛盾を指摘しています。

下記によりビデオ上映会を行いますので、奮って御参加下さい。

- ・日時 平成16年6月20日(日) 14:~15:
- ・場所 小林昌子事務所
事務所 TEL(FAX) 0725-53-4451
自宅 TEL(FAX) 0725-54-2626

市民の広場

< 槇尾川ダム建設について >

ダム建設の地元の方から投書がありました。原文のまま掲載します。



平素は何かと、我々市民のため、色々な取り組みをして頂き、誠に有難うございます。

また、会報も毎回楽しみに読ませてもらいます。大変勉強や、参考になることが沢山あります。

さて、今日ファックスさせて頂いたのは、別紙の槇尾川ダム建設事業の推進に関する要望書が町会の回覧板でまわってきました。この要望書に賛成する方は、署名して下さいということでしょう。これを読んで腹立たしく思いました。何の説明もなく、いきなり町会より回ってくるのです。

小林様や他の方は、槇尾川ダムについて、色々調査や反対に取り組んで頂いておるのに、地元が賛成する？どれだけの人が、内容を理解し、賛成しているのか疑問を感じます。

地元の説明もなく、先に行政が進めていく。莫大な経費を投入するだけの価値がどれだけあるのでしょうか？

今の大阪府の情勢も大変苦しく、これを作り上げて、メリットがあるのでしょうか？一部の建設業者(地元)?だけ潤うのではないのでしょうか?等個人的な意見です。

この和泉市の自然を壊さないでほしいものです。色々疑問を感じる事が多いです。私のような、何もできない、小さな市民ですが、何かご協力出来る事があれば言って下さい。

この投書の方のように地元の中にもダム建設に疑問を持っておられる方が沢山おられると思います。この回覧のように地元で積極的に意思表示が難しい方の意をどうして汲んでいくのか、見直し運動の大きな課題です。

< 杉の優良木発見 >

昌子の広場掲示板から

槇尾山行き公園前バス停から根来谷を登りつめ溪流から離れて右折、すこし登ったところ右側にひととき大きな杉の木が一本ある。木肌のコルク質の更新が速く赤々として大木にもかかわらず活性状態にある。市役所担当職員には早速の調査と保存を要望したい。



< 6月議会日程 >

市民の皆様、傍聴にお越し下さい

詳細は議会事務局 (Tel: 0725-41-1551) までお問い合わせ下さい

日程	会議	場所	時間
6月14日	議会運営委員会	委員会室	午後 1 時~
6月21日	本会議(議案審議)	議 場	午前 10 時~
6月22日	民生企業委員会	委員会室	午前 10 時~
6月23日	産業建設委員会	委員会室	午前 10 時~
6月24日	総務文教委員会	委員会室	午前 10 時~
6月25日	議会運営委員会	委員会室	午後 1 時~
6月30日	本会議(一般質問)	議 場	午前 10 時~
7月1日	本会議(一般質問)	議 場	午前 10 時~
7月2日	本会議(議案審議)	議 場	午前 10 時~

住基カードと公的個人認証のその後

引き続き住基カードと公的個人認証についてその後の状況を報告します。10ヶ月経過しても住基カードは167枚、公的個人認証に至っては5ヶ月でたった14件。

この住基システムに和泉市だけで14年度末まで人件費を除いて約5千万の開発費、運営費はこれも人件費を除いて年間500万円が必要となります。

誰のためのシステムなのでしょう？



	カード交付枚数	公的個人認証
H158	24	
H159	41	
H1510	21	
H1511	7	
H1512	10	
H161	8	2
H162	10	4
H163	19	6
H164	19	1
H165	8	1
計	167	14

ホームレスの方への衣類提供を行っています。協力頂ける方は下記へ連絡下さい。

宜しければお家まで引き取りにお伺いします。

Tel 0725-54-2626 小林迄ご連絡下さい。

既に10回釜ヶ崎にお届けしました。



< 事務所行事 > いずれも小林昌子事務所

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626

事務所 TEL 0725-53-4451

万葉講座

- ・講師 大高勇さん いずれも午後2時より
- ・26回 5/8(土) 済み
- ・27回 6/12(土) 万葉の花鳥風月 風月Part1
- ・28回 7/10(土) 万葉の花鳥風月 風月Part2

ちぎり絵講座

- ・6月9日(水) 13-16時 水ばしろう
- ・講師 西原志満子さん
- ・参加費 実費 千円程度

信太の森ふるさと館と湿地見学

- ・7月14日(水) 詳細は次号にて

パソコン講座(参加費無料)

- ・毎週 木、土曜日 14時から約2時間
- ・パソコンが初めての方もどうぞ遠慮なく、初めてこられる方はご連絡下さい

市政相談会

- ・第2、4水曜日 20:~21:30

この時間帯で都合のよい時間にお越し下さい

< さをりの森室堂町にオープン >

緑濃い敷地の中に赤煉瓦の「さをりの森」拠点施設がオープンしました。

さをり織りは城みさをさんが和泉の地で創案された手織りです。教えるのではなくもって生まれた感性を引き出し、磨く指導法で世界に一つの作品がたくさん作り出されています。

新しい場所は関西電力変電所の近くで隣にはゴルフの練習場があるところです。3500坪の敷地は元雑木林だったらしく、今もたくさんの樹木が緑の枝葉を広げています。

私は初めてさおり織りを体験しました。予め通されている縦糸の間を好きな色をくぐらせて織っていきます。右足左足を交互に使いながら横糸をくぐらせていた時は糸と音の作り出す空間にいて、何も考えないストレスのない楽しい一時でした。初心者の私にも短時間でそれなりの作品を手にすることが出来ました。後の予定があったので名残を惜しみながらおいとましました。

皆様も是非どうぞ。



昌子の広場

昌子の日記

- 5/3 女たちの憲法キャラバン
- 5/4 いずみの国弥生祭り晴明千年祭
- 5/6 和泉中央駅会報配布
- 5/7 和泉中央駅会報配布
- 5/8 介護保険学習会
- 5/11 光明池駅会報配布、さをりの森落成式、ハート会議
- 5/12 自治体議員勉強会
- 5/13~5/20 ベトナム/日本女性市民交流シンポジウムでベトナムへ
- 5/22 環境くらぶ、ここの家オープニング
- 5/23 かがやけ石尾っ子の会総会、ダム定例会
- 5/24 和泉府中駅会報配布、耐震学習会、プレーパーク会議
- 5/25 じゃんけんポン定例会、ダムビデオ上映会
- 5/26~5/28 長野県飯田市にて環境自治体会議出席
- 5/30 青年会議所40周年記念式典、まち作りワークショップ
- 5/31 和泉中央駅花壇整地作業